

私立 静岡英和学院大学

取組名称 **社会人基礎力向上プログラム**

取組担当者 **人間社会学部 教授・就職委員会委員長 安福恵美子**

1. 本学の概要

本学の設立主体である学校法人静岡英和女学院は123年前、1887(明治20)年に、静岡メソジスト教会牧師平岩愼保が県令関口隆吉らとともに設立した私立「静岡女学校」に始まる。静岡県内最初の女子教育期間である。大学は、2002(平成14)年4月、静岡県内14番目の4年生大学として開学した。1学部(人間社会学部)2学科(人間社会学科、地域福祉学科)男女共学の学校で、学生数は850人と小規模校である。

建学の精神は、明治以来のクリスチャンスクールとしての伝統を引き継いでいる。キリスト教精神に基づく「愛と奉仕」の実践を根幹とした人間性の陶冶に努める教育である。建学の精神は、次の4つの点にまとめられている。

- 「学問研修に専心し、精進する場であり、機会」であること
- 「キリスト教主義の学園」であること
- 「知識も、信仰もともに奉仕の行動として実践される」ものとするを教育の理想とすること
- 「日本の良き伝統を活かし日本社会に奉仕するもの」であるとともに、「今日の国際時代に自然に、聡明に、有効に処する道を教える場」であること、そして学院聖句「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くし、あなたの神である主を愛しなさい。又、隣人を自分のように愛しなさい。」や大学聖句「愛の実践を伴う信仰こそ大切です。」に集約している。

2. 本取組の概要

本学では、全学で1年次よりゼミ編成を行い、大学生活を送る上で必要な基礎能力と専門研究を行う上で必要となる文献読解力、要約力、発表能力について課題を解決させながら育成している。授業を通して学生生活の早期の段階から「キャリア」を考え、「自己理解」を深め、将来の目標への動機付けを行うことができるようにしている。大学3年生の就職希望者に対しては、

就職総合講座、支援講座を開講し就職活動に必要なノウハウを提供してきた。また、地域福祉学科では、老人福祉施設や障害者福祉施設、児童福祉施設等での実習を通し、実践力、人間力を鍛え、将来の社会福祉士や保育士、幼稚園教諭としての力量を高めることに努めている。実習を通して学生は日増しにたくましさを見せている。学問による理論と現場による実践が、人を鍛える相乗効果を実感している。これらの効果もあり、これまでは県内優良企業に多くの学生が就職し、一定の就職率を確保してきた。

ところが、2008(平成20)年度後半からの急激な景気悪化により2009(平成21)年度の就職率は非常に厳しい状況になった。この状況を打開するため、現在、就職活動中の学生への個別面談、模擬面談の充実、ガイダンスの追加等を図る他、これまで1年生、2年生に行ってきたキャリア教育の授業を再構築するとともに、これを補強するものとして適性検査、基礎学力育成講座、業界研究セミナー、資格支援講座、インターンシップ等の各種のキャリアプログラムの新設及び充実を図ることとした。1年からの授業の再構築によって4年間を見通した新たなキャリア教育の形成が期待できる。また各種のキャリアプログラムは、低学年から対象となるため3年生の就職総合講座、支援講座に臨む前に十分な職業観、勤労観を育成することができ、就職支援の強化として期待できる。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 趣旨と目的

今、社会は、大学に「社会人基礎力」として「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を身に付けた深い教養に裏付けられた人間性豊かな人間の育成を求めている。本学はキリスト教精神に基づく愛と奉仕を底流とした建学精神で、学生に豊かな人間性と社会人基礎力を育ててきた。本事業はこれらを継承・発展させるとともに次の目標を持って行う。

ア 就職活動に自信を持って臨めるように、入学当

初から将来の夢や目標を考えさせ職業意識、自立心を高めることを主眼にした各種のキャリアプログラムを構築していく。

イ 就職活動学年に対しての支援も充実を行い、一部の授業内だけに留まっていたキャリア教育を補強し、就職支援の強化をする。

ウ この取組によりキャリア形成の促進と就職率の向上を図ることを目的とする。

(2) 達成目標

更に、2010(平成22)年度は、大学4年間を通して一貫したキャリア教育を実現する目的達成のため次のことを達成目標とする。

ア 1年生、2年生には必修科目の授業時間内に特別講座としてキャリア教育を複数回取り入れること等、各種のキャリアプログラムを配し早期から学生の職業感、勤労観、社会人基礎力の育成を図る。

イ 3年生、4年生には現行の就職支援プログラムの一層の充実を図る。

についての講義を取り入れ、ライフプランや職業選択を考える機会とする。2年生でも基礎演習Ⅲ(必修科目)に産業・社会研究として、社会人講師の講義を組み込み、様々な産業、企業、職業があることを学ぶ機会を設定している。人間社会学科の1、2年生の講義には地域福祉学科の学生にも開放されている。

年間を通して課外授業としてキャリア支援講座(自己理解・他者理解、社会人基礎力講座、学生基礎力講座、基礎学力講座、筆記試験対策講座、自己分析講座、業界研究会、ディスカッションの仕方等)を配置して学生の「社会人基礎力」を磨いている。更に、人間社会学科2・3年生の単位科目であるインターンシップを支援する講座を開設する。又、従来から実施している業界勉強会、就職に関する保護者会を通し企業と保護者との連携を強化する。

「キャリアカウンセラーによる個人相談」は昨年度3月から行っている。フォローセミナーとともに、就職活動に迷い、悩む学生に効果的に支援できると考える。また、模擬面接・グループディスカッション講座で直接就職活動を行う。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 実施体制

各学科から選出された教員により組織された就職委員会と事務組織のキャリア支援課が協同して、キャリア支援プログラム、インターンシップ、就職(キャリア)支援講座の企画・運営を行っている。更に、学長が議長を務める就職対策会議と連携して全学的な支援体制を採っている。また、資格取得支援は、各学科教員で構成される教務委員会と事務組織の学務課及び学長室と連携して成果の向上と充実に努めている。

キャリア支援課では、「情報の集積・分析・発信」と「相談」「支援講座」を学生支援の3本柱として活動している。2010(平成22)年3月文部科学省の平成21年度大学教育・学生支援事業(就職支援推進プログラム)の選定を受け、「社会人基礎力向上プログラム」のもと、「相談」と「支援講座」を強化して、大学4年間を通じた一貫したキャリア教育の実現と確立を目指して就職委員会とともに企画・実施を行う。

(2) 具体的内容

人間社会学科1年生には、必修科目である「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」にキャリア概論、キャリアデザイン概論として、社会人講師による「人生や働くこと

5. 本取組の評価体制・評価方法

(1) 評価体制

就職委員会・キャリア支援課が、企画・実施している内容を学長が主催する就職対策会議に9月、12月、2月にキャリア支援課から報告し、評価を受ける。又、就職委員が所属する教授会へ委員より適宜報告し、評価を受ける。

保護者には実施計画や状況、結果をHP掲載や郵送等で報告する。

学生には実施計画は校内掲示やビラの配付、HP掲示で告知する。評価は受講した学生に毎回アンケートを実施する。

講座を担当者には講座修了後、学生の受講態度や学生の良さ、改善すべきこと等の評価をお願いする。

(2) 評価方法

学生へのアンケート内容は、第3回目の「基礎演習Ⅰ」の場合は下記のとおりである。他の授業での講座でのアンケート内容はほぼこの内容で行った。

①授業の内容は、あなたの今後の学生生活に生かすことのできるものか。

ア はい イ いいえ ウ どちらともいえない

②授業の内容は、あなたの疑問に答えるものでした

か。

ア はい イ いいえ ウ どちらともいえない

③今日の授業のねらいである「学生生活の具体的な行動目標の設定」ができたか。

ア はい イ いいえ ウ どちらともいえない

④今日の授業で学んだことや印象に残ったこと、疑問に思ったこと、感想等

⑤3回の講座で特に印象に残ったことを20字以内で記入

第3回目の「基礎演習Ⅰ」のアンケートの結果は、図1のように91%（参加者153人中137人）から好評を得ている。2年生に実施した「基礎演習Ⅲ」では図1のようにやや下がって83%（参加者117人中75人）の評価ではあるが好評の傾向は変わらない。

Q1 あなたの今後の学校生活に生かすことのできるものだったか。

ア・	はい	137
イ・	いいえ	5
ウ・	どちらともいえない	9

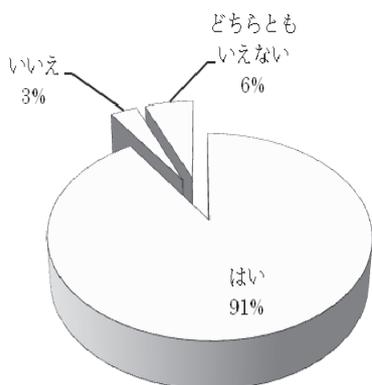


図1 「基礎演習Ⅰ」の①の集計結果

Q1 あなたの今後の学校生活に生かすことのできるものだったか。

ア・	はい	75
イ・	いいえ	3
ウ・	どちらともいえない	13

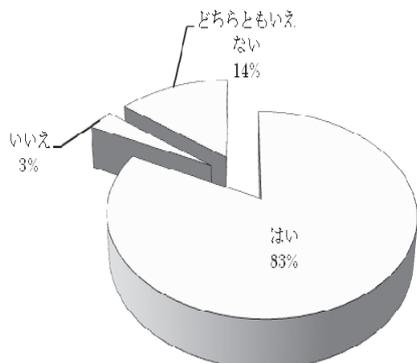


図2 「基礎演習Ⅲ」の①の集計結果

授業外の講座に対するアンケートも、講座への満足度を測る内容を必ず入れながら、講座内容やねらいによって変えて行う。

講師へのアンケートの質問事項は次のとおりである。

- ①講座での学生の様子は、どうでしたでしょうか。
- ②本学の学生の強み（良いところ）と弱み（改善すべきところ）は、どんなところでしょうか。
- ③私どもキャリア支援課の行っている学生への支援活動で他校と比べて足りないところは、どんなところでしょうか。その改善の方策は何でしょうか。これらを通して本事業を分析、評価していく。

6. 本取組の実施計画等

「社会人基礎力向上プログラム」の基、1年生、2年生は、早期から「キャリア」を考え、「自己理解」を深め、適切な職業観、勤労観、社会人基礎力の育成を図る基礎の部分鍛える。3年生は、1、2年生で鍛えた力を礎に、自己を見つめ、未来に備える。4年生は、自己実現できる力を磨き、未来を切り開き、大学4年間を通じた一貫したキャリア教育の実現と確立を目指して下記のプログラムを企画し実施している。なお、本プログラムは、本学の学生であれば学年が違ってても聴講ができるようにしている。

<1年生>

- 4月 ・適性診断テスト
職業に関する適性を見る。
- ・自己理解・他者理解セミナー
- 7月 ・基礎演習Ⅰ 3回
必修科目の本授業に社会人講師を招請し、人生、働くことについての講義をり入れて、ライフプランや職業選択を考える機会とさせる。キャリア概論を学ぶ。
- 10月 ・学生基礎力講座 3編成で各1回
人間社会学科は基礎演習Ⅱの授業の中でコミュニケーション・プレゼンテーションのスキルを学ぶ。留学生には同時間取り出しで日本語及び日本でのキャリア、コミュニケーションのスキルを学ぶ。
- 地域福祉学科はキャリア支援講座として同様な内容を2回に分け学ぶ。
- 1月 ・基礎演習Ⅱ 3回
必修科目の本授業に社会人講師を招請しキャリアデザイン概論を学ぶ。

< 2年生 >

- 4月 ・ 社会人基礎力講座 3回
相手を思いやりながら、自分の主張を効果的に伝えるスキルを身に付ける。
- 7月 ・ 基礎演習Ⅲ
必修科目の本授業に、専任教員の他、キャリアアカウンセラーによる会社の組織や運営の仕組みについての講義を取り入れ、様々な産業、企業、職業があることを学ばせる。
- 7月・1月 ・ インターンシップⅠ
インターンシップを希望する者への事前講座として。
- 10月 ・ 就職のための保護者会（保護者のみ）
- 10月・11月 ・ 基礎学力講座 4回
一般常識、時事問題等を学ぶ。公務員試験、就職試験に有効。

< 3年生 >

- 4月 ・ ウオーミングアップセミナー
これからの就職活動の進め方を学ぶ。
- 4月～12月
・ SPI模擬試験及び筆記試験対策講座 18回
企業の採用試験で多用されているSPIの対策を学ぶ。
- 5月 ・ 自己分析講座 3回
自分の強み、弱み、企業への志望動機を考えまとめていく過程を学ぶ。
・ 公務員ガイダンス
- 6月・7月 ・ 情報サイトの使い方講座 2回
企業研究の仕方、採用情報の入手方法を学ぶ。
・ 業界研究講座 2回
業種、職種とは何か。業界に属する企業の事業内容を理解する。
- 7月・1月 ・ インターンシップⅠとⅡ
インターンシップを希望する者への事前講座として。
- 10月 ・ 就職のための保護者会（保護者のみ）
・ 1DAYセミナー
自己分析、自己の強み、業界研究についてまとめて再確認する。
- 10月 ・ エントリーシート対策講座 2回
履歴書、エントリーシートを企業はどのように使うのか。記入する場合の注意事項をワークしながら学ぶ。
- 10月・11月 ・ 内定者体験発表会

内定を獲得した先輩やOB・OGから体験談を聴く。

- 11月 ・ ビジネスマナー講座
企業訪問、面接時等、ビジネスの常識となるマナーを学ぶ。
- 10月 ・ メイクマナー講座（女子学生対象）
就職活動での感じの良いメイク術を学ぶ。
- 12月 ・ 業界勉強会
学内に人事担当の方をお招きし、企業の事業内容、採用状況等をお聞きし、企業をより良く知る勉強会。
- 3月 ・ 模擬面接・グループディスカッション 3回
採用試験では避けられない面接に、自信を持って臨めるように。
- 1月以降 ○ キャリアアカウンセラーによる個別面談や相談を実施する。

< 4年生 >

- 4月～6月
・ 模擬面接・グループディスカッション 2回
採用試験では避けられない面接に、自信を持って臨めるように。
・ キャリアアカウンセラーによる個人面談 8回
現在の就職活動状況における問題点、悩み、今後の活動方法について専門家が助言する。
- 7月～12月
・ フォローセミナー 3回
内定がなかなか取れない、就職活動に出遅れてしまった、学生を対象に、自己分析、志望動機等、就職活動への取組を再学習する。
- 10月以降 ○ キャリアアカウンセラーによる個別面談や相談を適宜実施する。又、模擬面接等も実施する。

< 留学生 >

- 5月 ・ 外国人留学生の就職ガイダンス
日本で就職を希望する留学生が知っておかなければならない就職の常識を学ぶ。
- 10月 ・ 学生基礎力講座 2回
基礎演習Ⅱの授業の中で留学生には日本語及び日本でのキャリア、コミュニケーションのスキルを学ぶ。